

監 査 委 員 会 議 要 録

1 日 時 令和7年8月26日（火） 午前9時13分～午前11時31分

2 場 所 監 査 委 員 室

3 出 席 者 池田委員 内山委員 若原委員 吉田委員
事務局長 事務局次長代理 事務局職員3名

4 議 題

（1） 令和7年度 財政援助団体等監査実施団体の選定の考え方について

- ・ 事務局から説明を受け、補助金等交付団体の団体数等について質疑を行い、審議した結果、以下の考え方により選定することとした。
 - <補助金等交付団体> 66団体
 - ア 新規交付で、交付金額が100万円以上の団体：30団体
補助目的ごとの交付団体数を踏まえて選定数を配分する、新設又は交付対象が拡大したものを優先する等。
 - イ 新規交付を除く、交付金額が1,000万円以上の団体：30団体
補助目的ごとの交付団体数を踏まえて選定数を配分する、交付金額が大きい団体を優先する等。
 - ウ 過去の監査実施状況、区政の課題、話題性等から指定する団体：6団体
アとイで選定されなかった団体から、定期監査等の内容も参考に選定する。
 - <出資団体> 2団体
過去3か年度の監査実績を考慮する。
 - <指定管理者> 5団体
過去3か年度の監査実績を考慮する。

（2） 令和7年度 財政援助団体等監査説明聴取について

ア 総務部

- ・ 【出席者】
総務部長、職員厚生担当課長、経理課長、
危機管理室長、地域安全担当課長、防災課長

総務部長及び危機管理室長から、財政援助団体等監査資料に基づき、6年度の主な補助金等についての成果と課題について説明を受けた後、杉並区職員互助会のカフェテリアプラン（選択制補助事業）、杉並区土地開発公社による用地の先行取得、杉並区土地開発公社の歳出決算額の内容、防災市民組織の活動内容、消防団の定員割れ、震災救援所運営連絡会の開催状況、震災時の生活用水を確保するための登録井戸の件数等について質疑を行った。

イ 区民生活部

- ・ **【出席者】**
区民生活部長、管理課長、地域課長、地域施設担当課長、
文化・スポーツ担当部長、文化・交流課長、スポーツ振興課長、
産業振興センター所長、産業振興センター次長、
産業振興センター事業担当課長

区民生活部長、文化・スポーツ担当部長及び産業振興センター所長から、財政援助団体等監査資料に基づき、6年度の主な補助金等についての成果と課題について説明を受けた後、区内公衆浴場経営者に対する補助金、杉並芸術会館の施設の老朽化の状況、東京高円寺阿波おどりの安全対策、公衆浴場の入浴料、防犯カメラの設置等に対する補助（町会・自治会防犯カメラ設置等補助及び商店街防犯設備の整備等補助）、日本フィルハーモニー交響楽団の被災地支援活動に対する助成金、指定管理料の積算、指定管理者との協定書、商店街に対する補助金、町会・自治会の加入率、社会福祉法人杉並区社会福祉協議会に対するボランティア活動支援事業補助、区内の在住外国人数、区内の農業者数等について質疑を行った。

ウ 環境部

- ・ **【出席者】**
環境部長、環境課長、温暖化対策担当課長、ごみ減量対策課長、
杉並清掃事務所長

環境部長から、財政援助団体等監査資料に基づき、6年度の主な補助金等についての成果と課題について説明を受けた後、電気自動車用充電設備導入者に対する助成件数の減少、浄化槽管理者・占有者に対する助成金、一般照明用の蛍光灯の製造等の廃止の周知、アスベスト分析調査費用の補助、再生可能エネルギー等導入者に対する補助、民設の公衆喫煙場所の設置見込み、リユース容器導入補助の周知、特定非営利活動法人すぎなみ環境ネットワーク以外の環境団体への補助の有無等について質疑を行った。

5 配布資料

（１） 令和7年度 財政援助団体等監査実施団体の選定の考え方について

- ① 令和7年度 財政援助団体等監査実施団体選定の考え方（案）

（２） 令和7年度 財政援助団体等監査説明聴取について

- ① 総務部財政援助団体等監査資料
- ② 区民生活部財政援助団体等監査資料
- ③ 環境部財政援助団体等監査資料